



I 学校の管理下の死亡の状況

◇ 学校の管理下の死亡の発生件数（平成22年度 給付対象事例）

表－1 場合別の発生件数

○数字は、突然死の数

区 分		小学校	中学校	高等学校・ 高等専門学校	特別支援学校	幼稚園	保育所	計
各教科	体育（保健・体育）	1	4 ③	3 ③	(高) 1 ①			9
	その他の教科			1 ①				1
	理科			1				1
	保育						5 ④	5
行事 (除学校)	学級（ホームルーム）活動	1		1 ①				2
	給食指導				(高) 1			1
行事 学校	その他集団宿泊的行事		1					1
	運動会・体育祭	1 ①						1
指導 課外	体育的部活動		11 ⑧	8 ⑤				19
	文化的部活動			1 ①				1
	臨海学校	1 ①						1
休憩時間	休憩時間中	1 ①	1	2				4
	始業前の特定時間中		2	1 ①				3
	授業終了後の特定時間中	1	1	2 ①				4
寄宿舎にあるとき					(中1・高2) 3 ②			3
通学中	登校（登園）中	1	4 ②	3				8
	下校（降園）中	4	2 ①	4 ②				10
合 計		11 ③	26 ④	27 ⑤	5 ③	0	5 ④	74

表－2 死因別の発生件数

死因別	学校種別	小学校	中学校	高等学校 高等専門学校	特別支援学校	幼稚園	保育所	計（件）
突 然 死	突 心 臓 系		9	13	(高) 2		1	25
	突 中 枢 神 経 系		2	2	(高) 1			5
	突 大 血 管 系	3	3				3	9
	計	3	14	15	3		4	39
頭 部 外 傷	1	4	8	(高) 1				14
溺 死	4	1		(中) 1				6
頸 髄 損 傷			1					1
窒 息 死（溺死以外）	1	3					1	5
内 臓 損 傷	1	3	2					6
熱 中 症			1					1
全 身 打 撲	1	1						2
電 撃 死								0
焼 死								0
そ の 他								0
計		11	26	27	5	0	5	74

表-3 男女別の発生件数

	小学校	中学校	高等学校 高等専門学校	特別支援学校	保育所	総計
男	7	19	18	(中1・高4) 5	3	52
女	4	7	9		2	22
総計	11	26	27	5	5	74

1 小学校における死亡の事例

〔I〕各教科

(1) 体育（保健・体育）

水 泳

22死-1	小2年・男	溺死
-------	-------	----

水泳の授業中、大プールに移動し自由泳ぎをしていたが、教師の目が行き届かなかった5分程の間に溺水した。

〔II〕特別活動（除学校行事）

(1) 学級（ホームルーム）活動

22死-2	小5年・男	窒息死（溺死以外）
-------	-------	-----------

学校での出来事による死亡

〔III〕学校行事

(1) 運動会・体育祭

その他

22死-3	小6年・女	突大血管系
-------	-------	-------

運動会の全校練習中、綱引きを終え本児童はテントの中で見学していた。放送係のため放送室へ駆け寄り、その直後に力が抜けたようにその場に倒れた。救急車で病院に搬送し、手当てを受けたが、死亡した。



〔IV〕課外指導

(1) 臨海学校

水 泳

22死-4	小5年・女	突大血管系
-------	-------	-------

臨海学校の遠泳中、水泳指導の教諭達はそれぞれが適当な間隔を空けて児童達の様子を監視

しつ浮き輪を使い泳いでいた。突然本児童の動きが止まり、気付いた教諭がすぐに近寄り「しっかりしろ」と言いながら後頭部を支え顔が水に浸らない様にした。既に目が虚ろで意識も定かではなかった。3人の教諭で監視の小船にボディボードを使って引き上げた。直ちに人工呼吸、心臓マッサージを始めると同時に119番の要請をした。到着したドクターヘリの医療チームに引き渡した。医療機関で救命措置を行ったが、後日死亡した。

〔V〕 休憩時間

(1) 休憩時間中

22死-5	小4年・男	突大血管系
-------	-------	-------

休み時間に、運動場の築山付近で他の児童と二人と雪合戦を始めた。遊び始めて数分したところで、当該児童は突然しゃがみこむようにしてそのまま右側に倒れこんだ。呼び掛けに反応せず、意識も無い状態だった。救急車で医療機関に搬送し、救命措置を行ったが、心肺機能及び意識は戻らず死亡が認識された。

(2) 授業終了後の特定時間中

22死-6	小3年・男	頭部外傷
-------	-------	------

帰りの会（学級指導）を終え、学童保育室へ向かうはずのところ、一人で4階多目的室に入り、ベランダから転落落下し、死亡した。



〔VI〕 通学中

(1) 登校中

① 徒 歩

22死-7	小4年・女	全身打撲
-------	-------	------

朝登校するため自宅玄関を出たが、その後自宅マンションの外階段（7階と8階の踊り場）から1階のマンション駐車場へ転落した。マンション住人が倒れている本児童を発見し、救急車で病院に搬送されたが、死亡した。

(2) 下校中

① 徒 歩

22死-8	小1年・女	内臓損傷
-------	-------	------

他の児童と2人でふざけながら下校中、友だちの鉛筆のキャップが道路端の雨水槽に落ちてしまい、それを拾おうとして2人で雨水槽の蓋を開け、本児童が上半身を雨水槽の中に入れて、その児童が本児の足を押さえていたところ、本児童の靴が脱げ、バランスを失って雨水槽に落ち、死亡した。

22死-9	小3年・男	溺死
-------	-------	----

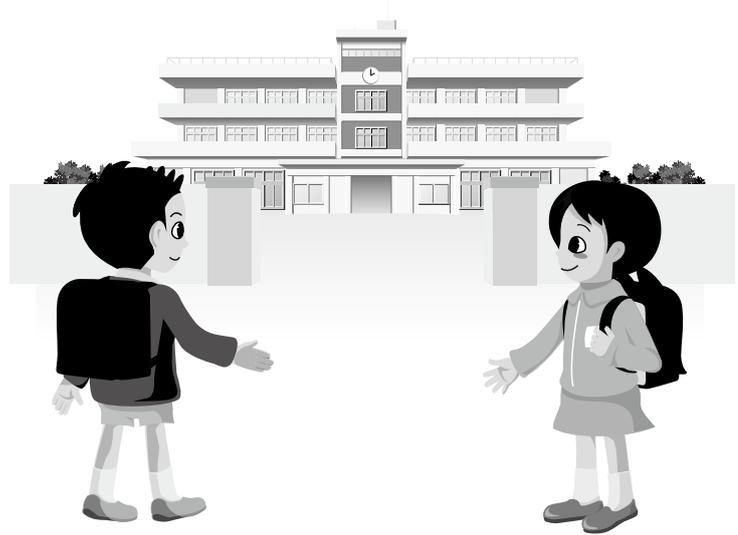
下校中、本児は、途中で一緒になった4年生3人と川で遊ぶ約束をして一緒に川へ行った。それぞれが小魚や水生生物を探して遊んでいるうちに、本児がおぼれかけていたのを他の児童が見つけた。近くにいた人に助けを頼んで110番通報をしてもらった。140m下流で発見されたが、死亡した。

22死-10	小5年・男	溺死
--------	-------	----

下校中、家に帰らないと連絡を受け捜査したところ道路沿いの水路の蓋の下にカバンを発見する。蓋の下から呼吸停止の状態が発見され、救急車で病院へ搬送したが死亡した。前日までの積雪で、水路上には雪がせり出していた。

22死-11	小5年・男	溺死
--------	-------	----

下校中、橋の下にあったカードを取ろうと、橋の下に降りた。川の上に積もっていた雪から足を滑らせ、川に落ち流された。およそ1時間後に発見され、病院で救命措置を施したものの死亡した。



2 中学校における死亡の事例

〔I〕各教科

(1) 体育（保健・体育）

①持久走・長距離走

22死-12	中3年・男	突心臓系
--------	-------	------

アップとして300m×2周、600m走った。呼吸を整えた後に外周500m×2周し3周目に入る手前で倒れそうになった。その際は意識ははっきりしており、自力で立ち上り走り始めたが、20～30m走ったところで再びうずくまり倒れ込んだ。救命処置をし、病院に搬送したが死亡した。

②走り高跳び

22死-13	中3年・男	頭部外傷
--------	-------	------

体育の時間に走り高跳びの背面飛びの練習中、着地に失敗をし、セーフティーマットから落ちそうになった。その状況を見て、教諭が中腰でマットから落ちないように抱えようとした際、教諭の膝が本生徒の左側頭部に当たった。救急車で搬送し、治療を受けたが後日死亡した。

③柔道

22死-14	中前3年・男	突大血管系
--------	--------	-------

本校武道場にて体育の授業で準備運動をして、ストレッチを行っている最中、身体を後ろに反らせた時、そのまま崩れるように後ろに倒れた。直ちにそばにいた体育教諭が様子を確認し、救急車を要請した。同時に養護教諭らが駆け付けAEDを使い心肺蘇生法を施した。大学病院へ搬送したが死亡した。

④その他

22死-15	中3年・女	突大血管系
--------	-------	-------

体育の授業見学であったが、休むために3Fから2Fの職員室に来た。本生徒は、発熱のため、2日続けて学校を休んだ後のことで体調が悪く、1Fの保健室に行く前に少し休憩をしたいということで、職員室の椅子に腰をかけたが、横になり、休むことになる。寒くないよう毛布をかけ、「親を呼ぼう」と伝えたところ、「大丈夫です」と答えた。その時は、脈84程。すぐ保健室へ本生徒を背負い移動する。そこで、救急車と保護者を呼ぶ。その日は、酸素ボンベが点検中で、家庭にあった為、使用していない。その間、意識と脈があったため、寒くならないようにマッサージをしていた。救急車が到着し、搬送途中で状況が悪化し、救急士による酸素吸入、AED、心臓マッサージによる救命救急を行ったが、死亡した。

〔Ⅱ〕学校行事

(1) その他集団宿泊的行事

22死-16	中1年・女	溺死
--------	-------	----

2泊3日の予定で自然体験学習に参加し、2日目の午後はカッター訓練で湖に出艇していた。3時頃より急に天候が悪化し、波が高くなり槽艇不能となってしまった。レスキュー艇に救出される途中、乗っていたボートが転覆し、その中に取り残されてしまった。その後水難救助隊に救助されたが心拍停止の状態、そのまま病院へ搬送されたが搬送先の病院で死亡が確認された。

〔Ⅲ〕課外指導

(1) 体育的部活動

①短距離走

22死-17	中1年・女	突心臓系
--------	-------	------

午前8時40分から陸上部の練習を始め、午前11時頃、バトンを受け渡す練習で70メートルを走り終わった後、突然倒れた。顧問の教諭は、すぐに救急車を要請し、日陰へ運んだ。心肺停止状態だったため、AEDと心肺蘇生を行った。AEDを2回実行した頃、救急車が到着し、救急搬送されたが死亡した。

②棒高跳び

22死-18	中3年・女	内臓損傷
--------	-------	------

陸上部で棒高跳びの練習の為、専用施設のある大学の体育館へ出かけて行き、練習に参加した。バーを越え着地した時、右膝が折れ曲がった状態でマットとマットの間に挟まったまま内側に倒れた。応急処置後に救急で病院を受診し、高校入学後に手術を受けたところ、麻酔による症状で後日死亡した。

③サッカー

22死-19	中1年・男	突中枢神経系
--------	-------	--------

部活動中、校庭の状況が悪かった為、ストレッチの後、校地の外周を5周(600m×5)3km走った。走り終えてすぐしゃがみ込み、横になる。呼吸が速く、頭痛を訴える。数名の教員が駆け付け、担架で保健室へ運んだ。学校の隣にある病院へ連絡を入れて、保護者の車で職員と共に搬送した。脳内出血が認められるとのことで、直ちに救急車で医科大学総合医療センターへ救急搬送となった。手術を行い、入院加療をしていたが、意識がもどることなく後日死亡した。



22死-20

中2年・男

突心臓系

顧問の指導のもと、学校運動場で、サッカーの練習をしていた。基礎練習の後、試合形式の練習になり、開始1～2分後（11時34分頃）、体調不良を訴え、自らコートの外に出て、座位になった。顧問と他の部員により、水分補給、脇や頸部の冷罨法を施していたが、座位から横に倒れた。脈拍を触知できなかったため、救急車を呼ぶと同時に、AEDの装着・人工呼吸を開始した（11時45分）。11時57分、救急車が到着し、搬送した。病院で蘇生処置を受けるが、死亡した。

22死-21

中2年・男

突心臓系

日曜日の朝、練習を開始。軽いランニング・パス等の練習を30分間実施し、9時頃からトラックを15周（3キロ）タイムトライアルを行い、本生徒は2位でゴールした。他の部員が全員ゴールするまで話しながら5分程度座って休憩していたが、飲み物を取りに立ち上った直後、急に気分不良を訴え、泡をふいて倒れる。自発呼吸はあるが、意識不明の状態だったため、救急車で搬送したが死亡した。

④ テニス

22死-22

中1年・男

突中枢神経系

地区中体連男子ソフトテニス大会個人戦の昼休み時間に、友達と遊んでいる時、急にうずくまるように倒れた。意識はあり、脈、呼吸、顔色には異常が見られなかったが、頭の痛みや足の痙攣から救急車の要請し病院で手術を受け、治療を続けたが、意識が戻ることなく約半年後に死亡した。

⑤ バasketボール

22死-23

中1年・男

突心臓系

本生徒はバスケット部の入部初日の練習日だった。校外でのランニングを行った。走り始めてまもなく、不調を訴えたため、無理をしないように指導し、ゆっくりと目的地へ向かったが、到着後に気分が悪くなり倒れた。直ちに病院へ搬送、集中治療室で治療を受けたが、翌日死亡した。

22死-24

中2年・女

突心臓系

ウォーミングアップをした後、練習メニューによりバスケットボール部の練習を3時間程行っていた。部活動の終盤、1セット5分間の試合形式による練習で、2セット目に入り2分経過した頃、センターライン少し手前でしゃがみ込むように倒れた。顧問教諭がすぐに声をかけたが反応がなく、呼吸が断続的で、脈の確認が困難なくらい弱かった。心肺蘇生、人工呼吸を行い、救急車で病院に搬送したが、同日死亡した。



⑥卓球

22死-25	中1年・男	突心臓系
--------	-------	------

本校体育館において、卓球部の後片付け中に突然倒れた。心肺蘇生をし、救急車で病院に搬送したが、死亡した。

⑦柔道

22死-26	中1年・男	頭部外傷
--------	-------	------

柔道部の活動中、準備運動の後の基本練習で投げと受け身の練習をしていた。自分の順番を待っている時、急に頭を痛がり、前向きに倒れた。救急車で搬送後、手術が行われ、意識の戻らないまま、後日死亡した。



22死-27	中3年・男	頭部外傷
--------	-------	------

柔道場で柔道部の部活動に参加していた。投げ込み練習後、8分間水分補給のため休憩をとった。本生徒は柔道場の隅で休憩していたが、他の生徒が次の練習メニューの乱取りを開始してもまだ休憩していた。部員が横になっている本生徒に気付き、声をかけたが反応が無いため指導中の顧問に伝えた。(投げ込み練習の後半に、本生徒が頭に手を当てて痛いとおつぶやいているのを、2名の生徒が目撃している)。救命センターに搬送され、緊急手術を受けたが、数日後に死亡した。

〔Ⅳ〕 休憩時間

(1) 休憩時間中

22死-28	中2年・男	窒息死(溺死以外)
--------	-------	-----------

学校での出来事による死亡

(2) 始業前の特定時間中

22死-29	中1年・男	窒息死(溺死以外)
--------	-------	-----------

登校してきた生徒が教室前を通り掛った際に本生徒を発見し教師に知らせる。教師2名が教室前方の地図掛けフックに細いロープがかかった状態でぐったりする本生徒を確認、すぐに抱きかかえロープから外し床に寝かせた。心肺停止を確認後、救命救急措置の手順にしたがって人工呼吸を行った。その後、救急隊が到着し病院へ搬送する。低酸素脳症で治療を受けていたが、脳死状態となり、後日死亡する。

22死-30	中3年・男	窒息死(溺死以外)
--------	-------	-----------

本生徒が教室にいなかった為、担任が家庭へ連絡したところ、母親が8時過ぎに学校まで車で送り届けたとのことが判明。本生徒は登校してきたが校舎へは向かわず、プール西側に行き、プールのフェンスに電気ケーブルを巻き付け縊死する。

(3) 授業終了後の特定時間中

22死-31	中1年・女	全身打撲
--------	-------	------

20時30分頃、母親から生徒が帰宅しないと連絡が有り校舎内を職員と母親で捜索したところ、21時頃教室外側1階ベランダでうつ伏せに倒れている所を発見する。直ちに救急車で搬送されたが同未明に死亡を確認する。

〔V〕 通学中

(1) 登校中

① 徒 歩

22死-32	中1年・男	突心臓系
--------	-------	------

持病がある本生徒は、寝坊したため母親が車で学校の近くまで送り届けた。普段は徒歩で登校しており、いつもの登校時刻より早く着いたために途中でおりて歩き、学校近くの遊歩道で倒れた。病院に運び、心肺停止状態で、治療を受けるも死亡した。

② バ ス

22死-33	中3年・男	突心臓系
--------	-------	------

午前7時40分ごろ、いつも通り自宅前からバスに乗車し、学校に向かった。車内では座席に座っていたが午前7時46分ごろ車内で突然倒れ、心肺停止状態となる。心臓マッサージをし、救急車で病院に搬送後、死亡した。

③ 自 転 車

22死-34	中1年・男	頭部外傷
--------	-------	------

自転車で登校中、警報機が鳴り遮断機も下りた状態の踏切に自転車を運転したまま進入し、下り列車の前面左側と衝突して大きく跳ねとばされ死亡した。

22死-35	中2年・男	内臓損傷
--------	-------	------

部活動の為、自転車で登校中、左カーブを曲がり切れずガードレールに衝突。左腋下を深く切り、路上に倒れていた。通りかかった工事関係者に発見され、救急車で病院に運ばれ、手術を受ける。入院加療を受けたが、4カ月後死亡した。

(2) 下校中

①徒 歩

22死-36	中2年・男	突大血管系
--------	-------	-------

本生徒は友人二人と下校した。三人で話しながら歩いている時に急に気持ちが悪くなり、動けなくなりその場にしゃがみこんだ。友人の一人が本生徒の自宅に走っていき、母親に本生徒の急を知らせる。もう一人の友人は本生徒に付き添っていた。母親がすぐに本生徒のもとへ駆け付け、救急車を要請した。救急車で市民病院へ運び、救命処置を受けたが、同日死亡した。

②自転車

22死-37	中2年・女	内臓損傷
--------	-------	------

自転車に乗って下校中、踏切で横断している時に電車にはねられ、死亡した。

3 高等学校・高等専門学校における死亡の事例

〔I〕各教科

(1) 体育（保健・体育）

①持久走・長距離走

22死-38	高2年・男	突心臓系
--------	-------	------

体育の3,000メートル走で、準備体操、ウォーミングアップ後、グループで走り始め500メートル地点で急に倒れた。心肺停止状態で、授業担当教員が人工呼吸と心臓マッサージを行った。AEDを使用したが発動せず、救急車到着まで教員2名で心肺蘇生を行った。しかし、意識が戻らぬまま、救命センターで救命処置を受けたが、同日死亡した。

22死-39	高2年・女	突心臓系
--------	-------	------

本生徒は体育の補習授業として校舎の外周（校地内）コースを持久走していたが、2週目の途中に玄関付近で倒れ心肺停止に至る。発見後、直ちに救急車を要請し、養護教諭2名で人工呼吸と胸骨圧迫を施し、AEDを2回使用する。その後、救急車が到着、病院へ搬送され、ICUにて集中治療を受けるも意識は戻らず数日後に死亡する。

②サッカー

22死-40	高2年・男	突心臓系
--------	-------	------

体育の授業中、グラウンドで準備運動を終えてサッカーの試合をしていた。本生徒はサッカーゴール前で立っていた所、突然倒れる。意識がない状態で病院に搬送後、死亡した。

(2) 理科

22死-41	高定3年・女	頸髄損傷
--------	--------	------

本生徒は以前から通院、加療中であった。7・8限の授業に参加していなかったが、担任が本生徒からの留守番メッセージに気付き捜したところ、校舎5階バルコニー下の地上に倒れているのが発見された。直ちに救命処置をし、病院に搬送されたが死亡した。

(3) その他の教科

22死-42	高3年・女	突心臓系
--------	-------	------

3時間目の女子棟5階の教室で授業を受けていた際に、突然椅子から倒れる。AEDを使用したが発動せず、病院に運び治療を受けたが、意識は戻らない状態で、数か月後に死亡した。

〔Ⅱ〕特別活動（除学校行事）

（1）学級（ホームルーム）活動

22死-43	高1年・男	突心臓系
--------	-------	------

6限目のホームルーム活動時、運動会のパネル色付作業を手伝う。作業で汚れる為、体操服に更衣し体育館に集合することになっていたが、本生徒は更衣せずパネルの横に座っていたので、「保健室で少し休もう」と声を掛ける。その時の返答等にはっきりとしていたが、本生徒が立ち上がり、担任が軽く支えながら数歩歩いたところで突然前のめりにゆっくり倒れる。呼吸が荒く、うなり声を上げ大量の発汗を伴いながら痙攣がみられたので直ちに救急車を呼び、病院へ搬送するが、数日後に死亡した。

〔Ⅲ〕課外指導

（1）体育的部活動

①サッカー

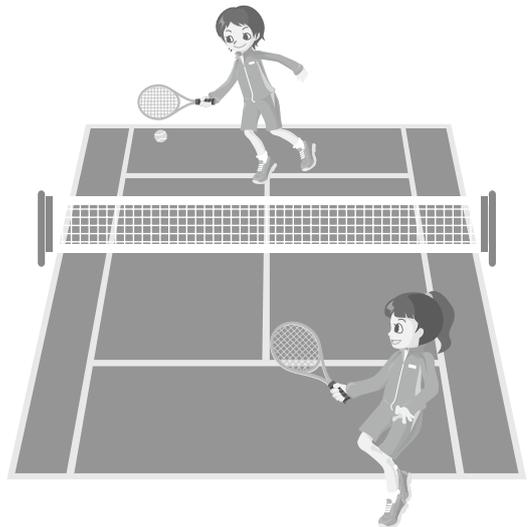
22死-44	高2年・男	突心臓系
--------	-------	------

サッカー大会に参加し、11時30分より始まった試合に先発メンバーとして出場したが、開始後10分ほどで体調不良を訴えた為交代した。テント内で塩、水分補給、体を氷やタオルなどで冷やししながら休んだ。その後、体調が戻ったと本生徒が伝え、昼食を摂取。ウォーミングアップを皆と行い、コーチが体調を確認し2試合目の後半10分から出場する。試合終了後、皆と整列に向かう途中に倒れる。心停止となり、AEDを作動させた。病院に搬送されたが、数日後に死亡した。心臓疾患の事実があった。

②テニス

22死-45	高2年・男	突心臓系
--------	-------	------

部の練習に参加していた。午前9時からウォーミングアップを始め、20分間走（ジョギングペース）・300本打ち・前衛練習を休憩をはさみながら行った後、後衛練習の2セット2本目を行っていた時に、本生徒が頭が痛いとかがみ、立ちあがろうとするが、そのまま倒れ込んだ。呼吸が荒く、普段と違う呼吸の為、119番通報する。顧問の1人が人工呼吸・心臓マッサージを行い、救急車が午後0時42分頃到着し、心肺停止のため救急隊員がAED及び心臓マッサージの処置をし、医療センターへ搬送。意識の戻らない状態で数日後に死亡した。心臓疾患の事実があった。



③ 野 球

22死-46	高1年・男	突中枢神経系
--------	-------	--------

野球部で神社に参拝し、学校にランニングで帰る途中の1時間ぐらい経過したところで、3人で走っていた本生徒が少し遅れ始めた。2人が先に走っていたところ、後方で音がしたので振り返ると、本生徒がうつ伏せの状態であっていた。病院に搬送、自己心拍再開後、蘇生後脳症となり、数日後に死亡した。

④ バスケットボール

22死-47	高2年・男	突心臓系
--------	-------	------

11時40分頃より活動を開始し、校内のトレーニング場で筋力のウォーミングアップを行い、さらに1周約1.9kmのコースを2周走った。ゴールした後、水分補給し、顧問より解散の指示があった。その後突然倒れ、荒い息づかいで、声かけにも反応が無い状態であった。救急車を要請し、心肺蘇生法を行いAEDによる処置を救急車が来るまで合計4回行った。13時に救急車が到着し、救急隊員に引き渡した。病院で処置を施したが同日死亡した。

⑤ 柔 道

22死-48	高1年・男	熱中症
--------	-------	-----

柔道部練習中、午後最後のトレーニング中、熱中症で倒れた。救急搬送後、病院で処置を受けるが、数日後死亡した。

22死-49	高3年・男	頭部外傷
--------	-------	------

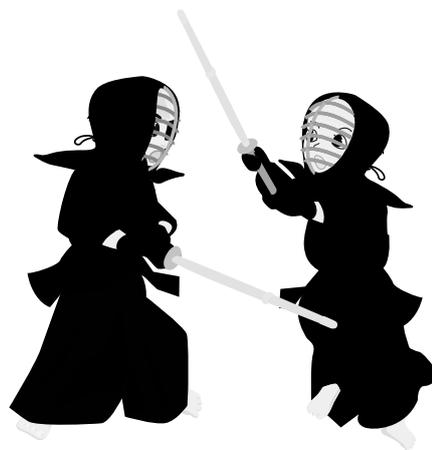
柔道部で顧問教師指導の下、他高校で行われた合同合宿に参加し、初日午後の練習で乱取り稽古を行っていた。お互い右組で技の攻撃をする中、相手の右大外刈りで右足を刈られ、後方へ投げられた時、後頭部を畳で強打した。投げられた後、すぐに上体を起こし、立ち上がろうとしたが、横になるようにして倒れ、起き上がらなかった。直ちに救急車を要請し、応急手当を行った。救急搬送中、病院からのドクターカーと合流し、3人の医師が乗り込み容態を確認し病院へ搬送。緊急手術を行ったが、同日死亡した。

⑥ 剣 道

22死-50	高1年・男	突心臓系
--------	-------	------

練習計画に従い練習を開始した。準備運動・基本動作の後、10時から打ち込み練習に入り、約束の打ち込み（1セット15秒）の4本目が終わり、次に備えて構えていたところ、静かに左膝からしゃがみ込む様に倒れた。見ると目がうつろであり、声掛けしたが反応がなかった。すぐ防具を外したが意識がなく、息づかいも荒かった。脈拍が弱まりつつあった状況を見た教諭

が、すぐ119番通報し同時に保護者にも連絡を取った。救急車内で心肺停止状態となり、蘇生を試みながら、成人病センターに搬送し処置を施したものの、同日死亡が確認された。



⑦自転車

22死-51	高3年・男	頭部外傷
--------	-------	------

自転車競技部の練習中、市道を4人縦列になり競技用自転車で走行していた。列の2番目を走行していた本生徒は、停車中の自動車の後部に衝突し転倒した。救急救命センターに搬送されたが、死亡した。



⑧文化的部活動

22死-52	高2年・女	突心臓系
--------	-------	------

晴れ・気温(27.7～33.4°)、湿気(54～68%)。

吹奏楽部活動の為登校。朝より「体調が悪い」と言っていた。ミーティング後、屋外中庭でストレッチ(屈伸・前屈・腕のストレッチ・アキレス腱伸ばし・ジャンプ・上体そらし)を2～3分行う。他の部員はランニングを始めたが、本生徒は体調が悪いため一緒にランニングは行わず、同じコースでウォーキングを始める。100メートルほど歩いて柱にもたれている所を他部員が目撃している。その後、倒れたことに他の部員が気がつき、ペットボトルやタオルで体を冷やすとともに顧問を呼びに行く。心肺停止状態で救急救命センターへ搬送。集中治療を受けるが、約2週間後に死亡した。

〔IV〕休憩時間

(1) 始業前の特定時間中

22死-53	高3年・男	突心臓系
--------	-------	------

12時45分頃、昇降口で上履きに履き替えている時、友人に話しかけられるが、返事をしないで下駄箱に手をついて「やばい。あーやばい」と言い、よろめきながら階段の方に向い、消毒用のアルコールを置いてある机に膝をつき、もたれかかり、いきなり仰向けに倒れた。友人が保健室に知らせ、養護教諭は頬を叩きながら呼びかけ、気道確保をした。救急車を呼び、AEDを持って来るよう要請。AED到着後に装着し、解析中の13時少し前頃、救急車が到着した。救急隊員の手でAEDが使用され、直に搬送体制に入った。病院にて、懸命の救命処置を行ったが、同日死亡した。

(2) 休憩時間中

22死-54	高通1年・男	内臓損傷
--------	--------	------

本生徒は以前から通院、加療中であった。当日は試験3日目で、休憩時間に8階踊り場の北向き窓(押し開き式、わずか17cm程の押し開いた部分)から飛び降りた。病院で蘇生処置を行うが、同日死亡した。

22死-55	高定1年・女	頭部外傷
--------	--------	------

3階の視聴覚教室で1・2時間目連続の保健の授業を受けていた。トイレ休憩があり、本生徒は同じ階の東側にある女子トイレに行き、他生徒と入れ違いにトイレを出た。休憩時間が終

了しても授業に戻らず、北側駐車場に倒れているのを発見された。救急車で病院に搬送されたが、同日死亡した。

(3) 授業終了後の特定時間中

22死-56	高2年・男	突中枢神経系
--------	-------	--------

中間考査最終日の試験が終わり、教室で挨拶のためみんなが起立する時、本生徒も立ち上がろうとしたが突然前のめりに倒れた。痙攣もあり、すぐ救急車を要請し、教室内で養護教諭など複数の教諭で、人工呼吸やAEDを装着し救急隊員へ引き継いだ。救命処置を行ったが、翌日死亡した。

22死-57	高3年・女	頭部外傷
--------	-------	------

最終下校時刻後も校舎内に生徒が残っていることが分かり、校舎外の非常階段下の地面にうつ伏せの状態に倒れているのを発見された。耳部から出血があり、顔面、地面まで流血していた。声かけには全く反応無く、呼吸・脈も確認できず、意識不明の状態だった。病院に搬送したが、同日死亡が確認された。

〔V〕 通学中

(1) 登校中

① 徒 歩

22死-58	高3年・男	内臓損傷
--------	-------	------

通学途中に、降車駅で降りたところ、同級生に腹部を刃物で刺された。救急治療を受けたが、同日死亡した。

② 自転車

22死-59	高1年・男	頭部外傷
--------	-------	------

自転車で登校中、警報機及び遮断機のない踏切を横断中に電車と接触衝突して、脳挫傷及び頭蓋骨骨折となった。救急隊員が駆け付けたが、死亡が確認された。

③ 原動機付自転車

22死-60	高1年・女	頭部外傷
--------	-------	------

原動機付自転車にて登校中、国道のカーブから直進（片側1車線）になったところのガードレールに衝突し、ガードレールを乗り越えて17m下の河原に転落し、頭部を強打した。病院で治療を受けたが、同日死亡した。

(2) 下校中

① 徒 歩

22死-61	高2年・女	突心臓系
--------	-------	------

生徒数名と下校中、電車に乗る為に駅まで歩いていた。すると、「痛い」という声が聞こえた為、他生徒達が振り向くとうつ伏せに倒れていた。生徒たちが声を掛けても反応がない為、すぐに学校へ連絡を行う。倒れた場所が、病院の敷地内だったため、病院関係者が、救急外来へストレッチャーで搬送し、手当てを受けたが、同日死亡した。

22死-62	高2年・女	頭部外傷
--------	-------	------

通常通り下校中、通学に利用している最寄り駅に着き、改札口を通過して小走りにホームから線路に入り、ちょうど通りかかった貨物列車にはねられた。救急車で搬送されたが死亡（即死）が確認された。線路内になぜ入ったかは不明。

22死-63	高通3年・男	突心臓系
--------	--------	------

平常授業を受け、ショートホームルーム終了後まで特に変わった様子はなかった。15時30分ごろ学校を出て徒歩で駅へ向かい、電車に乗って下車駅から自転車で自宅に向かう途中で、倒れているのを通行人が発見し、救急車を要請。病院へ搬送され死亡が確認された。指導区分Eであった。

② 自動二輪車

22死-64	高専5年・男	頭部外傷
--------	--------	------

自動二輪車で下校中、信号機のない交差点手前で右折する為に停止中の車両に後方から追突した。病院に搬送後死亡した。

4 特別支援学校における死亡の事例

〔Ⅰ〕各教科

(1) 体育（保健・体育）

持久走・長距離走

22死-65

養高2年・男

突心臓系

体育の授業中、準備運動後、校外のマラソンコースのスタート地点に歩いて移動した。本生徒は4km走る予定でスタート時はいつもと変わりなかった。スタートしてから777.3mの地点で突然倒れた。近くにいた教員が駆け寄り、直ちに保健室へ運んだ。救急車要請を指示し、学級担任へ保護者連絡を指示した。養護教諭はAEDの使用と心肺蘇生法を続けた。救急車が到着し、救急隊の要請のあったドクターヘリも到着し、医師による救命処置を行われ、ドクターヘリにて病院に搬送された後死亡した。



〔Ⅱ〕特別活動（除学校行事）

(1) 給食指導

22死-66

養高1年・男

頭部外傷

教室で給食準備をしていた。担当教諭がハサミを取りに後の台へ行った時、椅子に座ったままで、背後に転倒した。その時、後頭部を床で打撲。保健室に車椅子で運ばれ、受傷部分（右後頭部にたんこぶ）を冷やした。重度障害があり、冷やそうと何度も試みるが出来なかった為、ヘッドギアを被り後から冷却材を入れ、経過観察をする。その後の様子から救急車を要請する。直に手術を行ったが、同日死亡する。

〔Ⅲ〕寄宿舎

22死-67

盲中2年・男

溺死

寄宿舎指導員と浴室へ行く。指導員が先に出て、衣類等を宿直室に置きに行こうとした時には、本生徒は浴槽へ入ろうとしていた。その後、指導員が浴室に戻った時に浴槽でうつ伏せになり顔を湯につけているところを発見された。すぐに浴槽から出し、救急車を要請すると共に、その場（浴室洗い場）で救急隊員が来るまで心肺蘇生法を行った。病院で救急治療を受けたが、同日死亡した。

22死-68

盲高2年・男

突中枢神経系

食堂にて寄宿舎の朝食時間中、いつまでも食べものをかみ続けているので、どうしたのかと横にいた寄宿舎指導員が見ると、顔面にチアノーゼ症状が見られた。口の中の物を出すように促したところ、自ら出した。顔色は一旦戻ったが普段と様子が違うと感じた。他の指導員を呼

び様子を確認し、副校長に連絡した。医師の診断が必要と判断し救急車を要請した。保護者にも連絡を入れた。救急車を待つ間に横になるように促し横になった。呼びかけに対して反応していた。救急車到着時には、脈拍微弱で意識はなく、呼吸停止であった、病院に運ばれ、安定した状態になったが、翌朝容態が急変し、意識回復のないまま後日死亡した。

22死-69

盲高3年・男

突心臓系

寄宿舎で入浴中に突然不整脈をおこし、浴槽の中で意識がなくなり、水中に浮いている状態になった。一緒に入浴していた高等部の生徒(全盲)が、異変に気づき、すぐに指導員に知らせた。直ちに浴槽の外のタイルの上に引き上げ寝かせた。意識・呼吸はなく脈をわずかに確認する状態だったため、救急車を要請すると同時にAEDを使用して人工呼吸と心臓マッサージを複数の教職員で行い、救急隊員が到着するまで実施し引き継いだ。その後、救急車で病院に搬送した。本生徒は既往症があったが、心臓に異常はなく、学校の心電図検査でも特に異常はなかった



5 保育所における死亡事例

〔I〕 保育中

22死-70	保0歳・男	窒息死（溺死以外）
--------	-------	-----------

午睡中午後3時頃、保育士が添い寝し、寝ぐずりし寝付く。午後3時30分頃起き出したため、保育士が再び寝かしつけ、午後4時前、寝返りした為か、うつ伏せに近い状態になっており、顔色が悪くなっていた。すぐに救急車を要請、その間に心臓マッサージを行う。病院に搬送されたが、同日死亡した。

22死-71	保1歳・男	突大血管系
--------	-------	-------

担任が布団に仰向けにして寝かす。13:30起きてとことこ歩いた後、布団の上でしばらくごろごろして再び寝る。担任が横向きで寝て呼吸をしておることを確認する。14:30全体を見渡すが異常は感じられず、再び14:45確認すると、うつ伏せでぐったりしていた為、看護師を呼び心臓マッサージを行う。病院に搬送されたが、死亡した。

22死-72	保1歳・男	突大血管系
--------	-------	-------

11:00 給食を食べる。13:00 午睡に入る。13:15 寝付く。13:25 熟睡したことを（保育士が）確認しその場を離れた。その後2回確認されたが、異常は無かった。14:07 顔が青ざめ、様子がおかしいのを発見された。病院に搬送されたが、死亡した。

22死-73	保2歳・女	突大血管系
--------	-------	-------

保護者同伴の入園式終了後、各クラスに分かれる際に廊下にいた保護者が同児の異変に気づき、保育士に伝えた。すぐにタクシーを手配し、（熱を計測するよりも早く）約3分でこどもクリニックへ到着。熱性麻痺ということでそのまま帰宅したが、午後4時に再び発作が起き、救急車で大学病院へ搬送されたが死亡した。

22死-74	保5歳・女	突心臓系
--------	-------	------

午睡明け、保育士が部屋の明かりを点け、園児たちに目覚めの声掛けをしながら、ベランダ側のガラス戸を開けた。本児は顔を横向きにし、口元から嘔吐物があり、両眼は半開きで尿漏れで腰回りやシーツが濡れていたため、保育士が異変に気付いた。病院に搬送し、救命処置を受けるが、同日死亡した。